

# 【国語科】

## 国語総合

履修学科	普通科（特別進学コース）
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	5単位
教科書	精選国語総合 新訂版（大修館書店）

学期・月		項目	ねらい・教材など			
前期 中間	4	○随想 ○小説（一） ○評論（一）	○筆者の考え方を理解し、文章を読み味わう。 ○人物の心情を読み取り、作品の魅力を話し合う。 ○意見と根拠を読み取り、筆者の主張を理解する。 ●古文の特色を理解し、仮名遣いや言葉の違いを認識する。 ●歴史的仮名遣いに慣れ、現代語訳の仕方を理解する。品詞の種類、用言の活用を学習する。 ◎文章の書き方や原稿用紙の使い方を確認する。 ◎漢字検定問題に取り組む。			
	5	●古文入門				
	6	●説話 ◎表現 ◎問題演習				
前期 期末	7	○詩 ○評論（二） ○小説（二）	○詩に親しみ、詩の構成、表現上の効果等を理解する。 ○論理的な文章の展開を理解し、筆者の主張を読み取る。 ○文学作品に触れ、文体の特徴や人物の心情を理解する。 ●心情や情景などを表現に即して読み味わう。係り結びや助動詞について理解する。 ●物語文学を味わいながら、敬語の基礎を理解する。 ●漢文を理解する上での基本的な事柄・原則を理解する。 ●漢文の訓読に慣れ、故事成語の背景を理解する。 ◎作文と小論文の違いを理解する。			
	8	●随筆				
	9	●物語 ●漢文入門 ●故事成語 ◎表現				
後期 中間	10	○評論（三） ○俳句・短歌 ○評論（四）	○論理的な文章の展開を理解し、筆者の主張を読み取る。 ○短歌・俳句の修辞法を理解し、そこに込められた心情や情景を鑑賞する。 ○言語と社会の関係性を理解し、筆者の主張を読み取る。 ●物語の情景や心情を捉えると共に、口承文学の魅力や音便を理解する。 ●中国文学に親しみ、漢文の句法や登場人物の心情等を理解する。 ●近体詩の表現形式を理解し、そこに込められた内容や情感を鑑賞する。 ◎小論文の書き方を学習する。			
	11	●軍記 ●古代の史話 ●唐代の詩 ◎表現				
後期 期末	12	○小説（三） ○評論（五）	○近現代の文学に親しみ、人物の心情や平和についての理解を深める。 ○教養に関する論理的文章内容を理解し、自己の考えを建設的に論述できるようにする。 ●和歌の修辞法を理解し、その心情を鑑賞する。 ●古人の旅のありようや心情を理解し、助動詞の識別等の応用演習にも取り組む。 ●中国文学に親しみ、漢文の句法や登場人物の心情等を理解する。 ◎小論文を書く。			
	1	●和歌				
	2	●日記・紀行文				
	3	●唐代の物語 ◎表現				
評価の割合	考查点 70%	平常点 30%				
考查の実施	年4回実施します。					
平常点の評価 (30点)	主な評価内容		評価の観点			
			関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○				
	2 出席状況	○				
	3 課題提出	○	○	○	○	
4 小テスト	○	○		○		
留意事項	使用する補助教材 ○文章表現：「国語表現ナビ」（浜島書店） ○漢字：「漢字ボックス 漢字検定級別対応（5級～2級）」（浜島書店） ○古典：「新精選古典文法」、「新精選古典文法演習ノート」（東京書籍）					

# 【国語科】

## 国語総合

履修学科	普通科（進学コース）、美・デ科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	5単位
教科書	精選国語総合 新訂版（大修館書店）

学期・月		項目	ねらい・教材など			
前期 中間	4	○随想 ○小説（一） ○評論（一）	○筆者の考え方を理解し、文章を読み味わう。 ○人物の心情を読み取り、作品の魅力を話し合う。 ○意見と根拠を読み取り、筆者の主張を理解する。 ●古文の特色を理解し、仮名遣いや言葉の違いを認識する。 ●歴史的仮名遣いに慣れ、現代語訳の仕方を理解する。品詞の種類、用言の活用を学習する。 ◎文章の書き方や原稿用紙の使い方を確認する。 ◎漢字検定問題に取り組む。			
	5	●古文入門				
	6	●説話 ◎表現 ◎問題演習				
前期 期末	7	○詩 ○評論（二） ○小説（二）	○詩に親しみ、詩の構成、表現上の効果等を理解する。 ○論理的な文章の展開を理解し、筆者の主張を読み取る。 ○文学作品に触れ、文体の特徴や人物の心情を理解する。 ●心情や情景などを表現に即して読み味わう。係り結びや助動詞について理解する。 ●物語文学を味わいながら、敬語の基礎を理解する。 ●漢文を理解する上での基本的な事柄・原則を理解する。 ●漢文の訓読に慣れ、故事成語の背景を理解する。 ◎作文と小論文の違いを理解する。			
	8	●随筆				
	9	●物語 ●漢文入門 ●故事成語 ◎表現				
後期 中間	10	○評論（三） ○俳句・短歌 ○評論（四）	○論理的な文章の展開を理解し、筆者の主張を読み取る。 ○短歌・俳句の修辞法を理解し、そこに込められた心情や情景を鑑賞する。 ○言語と社会の関係性を理解し、筆者の主張を読み取る。 ●物語の情景や心情を捉えると共に、口承文学の魅力や音便を理解する。 ●中国文学に親しみ、漢文の句法や登場人物の心情等を理解する。 ●近体詩の表現形式を理解し、そこに込められた内容や情感を鑑賞する。 ◎小論文の書き方を学習する。			
	11	●軍記 ●古代の史話 ●唐代の詩 ◎表現				
後期 期末	12	○小説（三） ○評論（五）	○近現代の文学に親しみ、人物の心情や平和についての理解を深める。 ○教養に関する論理的文章内容を理解し、自己の考えを建設的に論述できるようにする。 ●和歌の修辞法を理解し、その心情を鑑賞する。 ●古人の旅のありようや心情を理解し、文法句法の理解を深める。 ●中国文学に親しみ、漢文の句法や登場人物の心情等を理解する。 ◎小論文を書く。			
	1	●和歌				
	2	●日記・紀行文				
	3	●唐代の物語 ◎表現				
評価の割合	考查点 70%	平常点 30%				
考查の実施	年4回実施します。					
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点				
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解	
		1 授業態度	○			
		2 出席状況	○			
		3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○		
留意事項	使用する補助教材 ○文章表現：「国語表現ナビ」（浜島書店） ○漢字：「漢字ボックス 漢字検定級別対応（5級～2級）」（浜島書店） ○古典：「新精選古典文法」、「新精選古典文法演習ノート」（東京書籍）…美・デ科は除く					

# 【国語科】

## 国語総合

履修学科	普通科(保育,未来創造)、商業科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	5単位
教科書	新編国語総合(教育出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	○随筆 ○小説1 ○評論1	○筆者の考え方を理解し、文章を読み味わう。 ○人物の心情を読み取り、作品の魅力を話し合う。 ○意見と根拠を読み取り、筆者の主張を理解する。
	5	●古文入門	●古文の特色を理解し、仮名遣いや言葉の違いを認識する。
	6	●説話 ◎表現	●歴史的仮名遣いに慣れ、現代語訳の仕方を理解する。品詞の種類、活用を学習する。 ◎文章の書き方や原稿用紙の使い方を確認する。
前期 期末	7	○詩 ○戯曲 ○評論1	○詩に用いられている比喩表現を理解する。 ○文章の内容と表現に関心を持ち、工夫して朗読する。 ○語彙に注意し、筆者があげている理由や根拠を理解する。
	8	●随筆	●心情や情景などを表現に即して読み味わう。係り結びや過去の助動詞、用言の活用について理解する。
	9	●物語1 ◎表現	●文体の特色を味わう。助動詞のはたらきを理解する。 ◎作文と小論文の違いを理解する。
後期 中間	10	○小説2 ○評論2 ○俳句・短歌	○場面・状況を読み取り、人物の心の動きを想像する。 ○評論の読解を通して論理的な文章に慣れる。 ○短詩型文学の技法と魅力を学習する。
	11	●漢文入門 ●故事 ◎表現	●漢文の基本的な事柄について、その原則を理解する。 ●文章を正しく訓読し、故事成語の意味を理解する。 ◎小論文の書き方を学習する。
後期 期末	12	○小説3 ○評論3	○視点や語りに注目して、作品を読み味わう。 ○異論・反論を踏まえた論の展開を知る。
	1	●物語2	●物語文学を味わいながら、敬語の基礎を理解する。
	2	●唐詩	●優れた表現に親しみ、漢詩の基本的な事柄を理解する。
	3	●思想 ◎表現	●章句の表現の特色を捉え、思想家の主張を読み取る。 ◎小論文を書く。

評価の割合	考查点 70%	平常点 30%			
考查の実施	年4回実施します。				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	使用する補助教材 ○文章表現：「国語表現ナビ」(浜島書店) ○漢字：「漢字ボックス 漢字検定級別対応(5級～2級)」(浜島書店)				

# 【地歴公民科】

## 現代社会

履修学科	普通科, 商業科, 美術・デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「新現代社会」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1編 私たちの生きる社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球規模の環境問題にはどのようなものがあるかを理解する。(教科書掲載の写真や地図)</li> <li>環境問題への国際的取り組みも踏まえ, 自然, 環境を残すためにどうしたらよいか考える。</li> <li>資源の有限性について理解を深め, 原子力発電・新エネルギー・省エネルギーなどについて多角的に考える。</li> </ul>
	5	1. 環境と私たちの生活	
	6	2. 資源・エネルギー問題と私たちの生活	
前期期末	7	3. 科学技術の発達と私たちの生命	<ul style="list-style-type: none"> <li>科学技術の発達による医療技術などの変化, 生命倫理上の問題など多角的に考える。</li> <li>高度情報社会で生きていくために必要な知識を身に付け課題について考える。</li> <li>人生の中で青年期はどのような意味をもつか考える。</li> </ul>
	8	4. 高度情報社会と私たちの生活	
	9	第2編 現代社会と人間としてのあり方生き方 第1章 青年期と自己の形成 青年期とは	
後期中間	10	青年期を充実させるために自立に向けて・社会との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>青年期におけるさまざまな悩みと, それを克服するためにはどうすればよいか考える。</li> <li>日本の安全保障, 領土, 国際貢献について理解し, 国際平和と人類の福祉に日本がどのように寄与すればよいか考える。</li> </ul>
	11	第4章 国際政治の動向と日本の役割 地域紛争と人種・民族問題	
	12	国境と領土問題 日本の役割と私たちの生き方	
後期期末	1	第5章 現代の経済社会と私たちの生活 経済と私たちの生活 経済体制の変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>経済の基本的なしくみと特徴を理解する。</li> <li>企業や市場について, 正しく理解する。</li> <li>景気変動について理解する。</li> <li>望ましい政治の在り方及び主権者としてどのように政治に参加すればよいか考える。</li> </ul>
	2	現代の企業および市場のしくみ	
	3	第3章 現代の民主政治と政治参加の意義 選挙制度の現状と課題	

評価の割合	筆記テスト70%(点)相当 平常点(下記評価)30%(点)相当 計100%(点)				
考査の実施	前期中間・期末、後期中間・期末(年4回)				
平常点の評価	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			○
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	※各コース担当で進度調整を行う場合もある。				

# 【数学科】

## 数学 I

履修学科	普通科、商業科、美術・デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	4単位・5単位
教科書	数学 I Standard (東京書籍)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1章 数と式 1節 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整式に関する用語の意味を理解し、整式の整理、加法・減法・展開・因数分解ができるようにする。</li> <li>・数の範囲を整数、有理数、実数へと拡張し、無理数・実数の意味と性質を理解させる。</li> <li>・不等式の性質を理解させ、1次不等式を解けるようにする。</li> </ul>
	5	整式、整式の加法・減法・乗法、因数分解	
	6	2節 実数 実数、根号を含む式の計算 3節 1次不等式	
前期期末	7	2章 集合と論証 1節 集合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命題の意義を明らかにし、必要条件・十分条件の意味を理解させ、それが使えるようにする。</li> <li>・2次関数の軸と頂点を、平方完成により求めさせ、2次関数のグラフをかけるようにする。</li> </ul>
	8	2節 命題と論証	
	9	3章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ 関数・2次関数・2次関数の最大・最小	
後期中間	10	2次関数の決定 2節 2次方程式と2次不等式 2次方程式、2次方程式と実数解の個数、2次関数のグラフとx軸の共有点、2次不等式、2次不等式の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次方程式の解の公式を用いて、2次方程式を解けるようにする。</li> <li>・2次関数のグラフとx軸との位置関係を理解させ、2次不等式の解との関係について理解させる。</li> <li>・直角三角形の辺の長さの比と角の関係として、鋭角の三角比を定義し、実際的な問題を通して用語・記号などに慣れさせる。また、三角比の相互関係について学ぶ。</li> </ul>
	11	4章 図形と計量 1節 鋭角の三角比 直角三角形と三角比、直角三角形の辺と角、三角比の相互関係	
学年末	12	2節 三角比の拡張 三角比と座標、三角比の性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鈍角の三角比は、鋭角の三角比を使って理解させる。</li> <li>・三角比の三角形の応用として正弦定理と余弦定理を示し、使いこなせるようにする。また、三角形の面積を正弦定理や余弦定理、相互関係などを用いて求めさせることを理解させる。</li> <li>・代表値や四分位数などの求め方を理解し、様々なデータの特徴を捉えさせる。</li> </ul>
	1	3節 三角形への応用 正弦定理、余弦定理、三角形の面積、空間図形の計量	
	2	5章 データの分析	
	3	1節 データの整理と分析 2節 データの相関 課題学習	

評価の割合	考查点 70%      平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

# 【数学科】

## 数学A

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	数学A Standard (東京書籍)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	1章 場合の数と確率 1節 集合と場合の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合の表し方、部分集合・共通部分・和集合・補集合などについて理解させる。</li> <li>場合の数を求めるときの基本として、和の法則、積の法則、樹形図の適用、有用性を理解させる。</li> <li>順列の意味を理解させ、それらの総数を求められるようにする。</li> </ul>
	5	1 集合の要素と個数	
	6	2 数え上げの原則 3 順列	
前期 期末	7	4 組合せ 2節 確率とその基本性質 1 事象と確率 2 確率の基本性質	<ul style="list-style-type: none"> <li>組合せの意味を理解させ、それらの総数を求められるようにする。</li> <li>同様に確からしいことをもとに確率の定義を与え、確率の計算ができるようにする。</li> <li>独立な試行の概念を導入し、独立な試行における事象の確率を求められるようにする。</li> <li>反復試行を理解させ、これを用いた確率の計算ができるようにする。</li> <li>条件つき確率の意味を理解し、簡単な場面について条件つき確率を求めることができるようにする。また、それを事象の考察に活用することができるようにする。</li> </ul>
	8	3節 いろいろな確率 1 独立な試行の確率	
	9	2 反復試行の確率 3 条件つき確率	
後期 中間	10	2章 整数の性質 1節 約数と倍数 1 約数と倍数、素因数分解 2 最大公約数と最小公倍数	<ul style="list-style-type: none"> <li>自然数の約数、倍数や割り算をしたときのあまりについて理解を深めさせる。</li> <li>最大公約数と最小公倍数の性質について理解させる。</li> <li>中学校で学んだ三角形と比の定理を復習し、理解を深める。また、三角形の内角の二等分線と比、外角の二等分線と比を理解させる。</li> </ul>
	11	3章 図形の性質 1節 三角形と比 1 三角形と比	
学年 末	12	2 三角形の重心・外心・内心 3 三角形の比の定理	<ul style="list-style-type: none"> <li>三角形の重心・外心・内心を定義し、それらの性質について理解させる。</li> <li>円周角の定理、円周角と定理の逆について理解し、問題に生かせるようにする。円に内接する四角形の性質や四角形が円に内接する条件を理解する。</li> <li>接線と弦のなす角の関係（接弦定理）、円の2本の弦に関して成り立つ定理（方べきの定理）を理解させる。</li> </ul>
	1	2節 円の性質	
	2 3	1 円周角の定理 2 円に内接する四角形 3 円と接線 4 接線と弦のつくる角 5 方べきの定理 6 2つの円 課題学習	

評価の割合	考查点 70%      平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項					

# 【理科】

## 科学と人間生活

履修学科	商業科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「改訂 科学と人間生活」(第一学習社)
副教材	「教材ノート科学と人間生活」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	第Ⅰ編 科学技術の発展 1. 情報伝達技術の発展 2. エネルギー資源の活用と交通手段の発展 3. 医療技術の発展	<ul style="list-style-type: none"> <li>電気の実用化から電話が発達し、電磁波の発見から無線通信、ラジオやテレビ放送へと発達してきた過程を理解している。</li> <li>蒸気機関の改良からガソリンエンジンのような内燃機関が開発され、自動車や飛行機が普及した発展の流れを理解している。</li> <li>止血法(血管結さつ法)、全身麻酔法、消毒法の発見・開発によって近代医学が格段に進展したことを理解している。</li> </ul>
	5		
	6		
前期 期末	7	第Ⅱ編 人間生活の中の科学 第1章 物質の科学 第2節 材料とその利用 第2章 生命の科学 第1節 生物と光	<ul style="list-style-type: none"> <li>プラスチックを構成する粒子である原子の構造、共有結合とその種類、分子の表し方について、化学的な知識を身につけている。</li> <li>生物を取り巻く環境要因を認識し、そのうちの光に注目し、植物の開花や動物の繁殖行動に対する光の影響を理解できる。</li> </ul>
	8		
	9		
後期 中間	10	第3章 熱や光の科学 第2節 光の性質とその利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近に感じられる光の分散・散乱に関心を抱き、そのしくみについて、科学的に理解できる。</li> <li>電磁波の種類と性質について興味をもち、日常生活に使用されるさまざまな電磁波について理解できる。</li> </ul>
	11		
後期 期末	12	第4章 地球や宇宙の科学 第1節 身近な自然景観と自然災害 第Ⅲ編 これからの科学と人間生活 第1章 課題の設定と研究の進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>身のまわりにある景観に関心をもち、日本列島の特徴とその成因、日本列島付近のプレートの動きについて科学的に理解できる。</li> <li>具体的な課題の研究・調査を始めるに当たって、課題の設定から研究計画の立案、研究の実施、およびレポートの作成、プレゼンテーションまでの展開を的確に理解している。</li> </ul>
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点70% 平常点30%				
考查の実施	年4回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出(ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。</li> <li>教科書準拠の問題集「教材ノート科学と人間生活」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。</li> </ul>				

# 【理科】

## 化学基礎

履修学科	普通科(特進・進学)
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「新版化学基礎新訂版」(実教出版)
副教材	「アクセスノート化学基礎」(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 物質の構成 第1節 物質の探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体・化合物及び混合物について理解する。</li> <li>・原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。</li> <li>・粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。</li> </ul>
	5	第2節 物質の構成粒子	
	6		
前期期末	7	第2章 物質と化学結合 第1節 イオン結合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。</li> <li>・金属結合及び金属の性質を理解する。</li> <li>・共有結合を電子配置と関連づけて理解する。また、分子からなる物質の性質を理解する。</li> </ul>
	8	第2節 共有結合と分子間力	
	9	第3節 金属結合	
	9	第4節 化学結合と物質	
後期中間	10	第3章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。</li> <li>・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。</li> <li>・酸と塩基の性質を理解する。また、酸・塩基の強弱と電離度の大小についても理解する。</li> </ul>
	11	第2節 酸と塩基	
後期期末	12	第3章 物質の変化 第2節 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水素イオン濃度とpHの関係を理解する。</li> <li>・中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。</li> <li>・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。</li> <li>・酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。</li> </ul>
	1	第3節 酸化還元反応	
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。</li> <li>・教科書準拠の問題集「アクセスノート化学基礎」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。</li> </ul>				



# 【理科】

## 化学基礎

履修学科	普通科（未来創造・保育）
履修学年	第1学年（普）
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「高校化学基礎新訂版」(実教出版)
副教材	「高校化学基礎カーノート」(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 物質の構成 第1節 物質の探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質の分離・精製や元素の確認などの実験を通して、単体・化合物及び混合物について理解する。</li> <li>・原子の構造及び電子配置と周期律との関係を理解する。</li> <li>・粒子の熱運動と温度及び物質の三態変化との関係について理解する。</li> </ul>
	5	第2節 物質の構成粒子	
	6		
前期期末	7	第2章 物質と化学結合 第1節 イオン結合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。また、イオン結合及びイオン結合でできた物質の性質を理解する。</li> <li>・金属結合及び金属の性質を理解する。</li> <li>・共有結合を電子配置と関連づけて理解する。また、分子からなる物質の性質を理解する。</li> </ul>
	8	第2節 共有結合	
	9	第3節 金属結合	
	9	第4節 粒子の結合と結晶	
後期中間	10	第3章 物質の変化 第1節 物質と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物質と粒子数、質量、気体の体積との関係について理解する。</li> <li>・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解する。</li> <li>・酸と塩基の性質を理解する。また、酸・塩基の強弱と電離度の大小についても理解する。</li> </ul>
	11	第2節 酸と塩基	
後期期末	12	第3章 物質の変化 第2節 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水素イオン濃度とpHの関係を理解する。</li> <li>・中和反応に関与する物質の量的関係を理解する。</li> <li>・酸化と還元が電子の授受によることを理解する。</li> <li>・酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。</li> </ul>
	1	第3節 酸化還元反応	
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。</li> <li>・教科書準拠の問題集「高校化学基礎カーノート」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。</li> </ul>				

# 【理科】

## 生物基礎

履修学科	普通科・美術デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	「改訂 生物基礎」(第一学習社)
副教材	「プログレス生物基礎」(第一学習社)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	第1編 生物と遺伝子	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球上には多種多様な生物が生息しており、生物には共通の特徴があることを理解する。</li> <li>代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わることを理解する。</li> </ul>
	5	第1章 生物の特徴	
	6	第1節 生物の多様性と共通性 第2節 細胞とエネルギー	
前期 期末	7	第2章 遺伝子とその働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヌクレオチドの構造およびDNAの二重らせん構造について理解する。</li> <li>細胞内のDNAを複製され、分裂によって均一に分配される細胞周期について理解する。</li> <li>DNAの塩基配列から転写と翻訳によってタンパク質が合成される流れについて理解する。</li> </ul>
	8	第1節 遺伝子の本体の構造	
	9	第2節 遺伝子の複製と分配 第3節 遺伝情報とタンパク質の合成	
後期 中間	10	第2編 生物の体内環境の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>恒常性と体液の種類である血液、組織液、リンパ液について理解する。</li> <li>体内環境が自律神経系と内分泌系によって維持されていることを理解する。</li> </ul>
	11	第3章 生物の体内環境	
後期 期末	12	第1節 体液とその働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>免疫を担う細胞や器官の種類と働きの概要を理解する。</li> <li>植生は不変ではなく、長期的には移り変わっていることを学習する。</li> <li>バイオームの概念を理解する。</li> <li>生態系を構成する生物は、一定の範囲内での変動をつねにくり返しながら、全体としてバランスを維持していることを理解する。</li> </ul>
	1	第2節 体内環境の維持のしくみ	
	2	第3節 生体防御	
	3	第3編 生物の多様性と生態系	
	3	第4章 植生の多様性と分布	
1	第1節 植生と遷移		
2	第2節 バイオームとその分布		
3	第5章 生態系とその保全		
		第1節 生態系	
		第2節 生態系のバランスと保全	

評価の割合	考查点 70% 平常点 30%				
考查の実施	年 4 回実施				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 提出物 (プリント、ノート、ワーク等)	○	○	○	○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で配布したプリントのまとめをしっかりと行い、ノートもきちんととること。</li> <li>教科書準拠の問題集「プログレス生物基礎」は、各自予習復習に用い、考查前には3回以上やり遂げていること。</li> </ul>				

# 【保健体育科】

## 体 育

履修学科	普通科、商業科、美術・デザイン科
履修学年	第1学年（男子）
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	アクティブスポーツ 2020

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前 期 中 間	4	体づくり運動、体育理論 集団行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の授業展開を伝えるとともに、体育の授業で目標としている評価のポイントを理解させる。スポーツの歴史・文化的特徴や現代のスポーツの特徴を知り、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>・集団行動の中で約束や決まりを守り、機敏的確に行動することを身に付ける。</li> <li>・体力を高め目的に適した運動能力を身に付ける。</li> <li>・現在の自分の体力を知り、今後の授業に活かす。</li> </ul>
	5	基礎運動能力育成、スポーツテスト 陸上（走・跳・投）	
	6		
前 期 末	7	陸上（走・跳・投）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に応じた目標達成を目指す。</li> <li>・個人技能（パス・レシーブ・サーブ）の基本技能を習得すると共に、集団プレーの在り方を学び、ゲームに活かす工夫をさせる。</li> <li>・プレー中の安全に配慮しながら、状況に応じた技能を發揮できるようにさせる。</li> </ul>
	8	バレーボール	
	9	ソフトボール	
後 期 中 間	10	サッカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人技能の向上を図ると共に、集団プレーの在り方を学び、ゲームに活かす工夫をさせる。</li> <li>・接触プレーの多い球技種目を通して、チームの協調性とルールの順守の大切さを学ばせ、協力し合いながら、パスやドリブル・ボールコントロールの基本技術を身に付ける。</li> </ul>
	11	バスケットボール	
学 年 末	12	剣道  (バドミントン)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・武道の精神を理解させ、安定した精神力の育成と武術の向上を目指す。</li> <li>・プレー中の安全に配慮しながら、状況に応じた技能を發揮できるようにさせる。</li> </ul>
	1		
	2		
	3		

評価の割合	授業内でのテスト 70% 平常点 30%				
考査の実施	実施せず全て実技試験による				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
留意事項	<p>運動の必要性を自覚させ、運動習慣の定着と体力向上に努力する姿勢を身に付けさせる。常に集団の一員としての在り方を考えさせ、進んで取り組む資質や改善する能力を養う。また、周囲の安全に気配りできる視野を育成し、互いを労われるようにする。</p> <p>健康と安全、周りとの協調性を認識しながら、スポーツを生涯の友として取り組む習慣を育成する。</p>				

# 【保健体育科】

## 体 育

履修学科	普通科、商業科、美術・デザイン科
履修学年	第1学年（女子）
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	アクティブスポーツ 2020

学期・月		項 目	ねらい・教材など
前 期 中 間	4	体づくり運動、体育理論 集団行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の授業展開を伝えるとともに、体育の授業で目標としている評価のポイントを理解させる。スポーツの歴史・文化的特徴や現代のスポーツの特徴を知り、体を動かす楽しさや心地よさを味わう。</li> <li>・集団行動の中で約束や決まりを守り、機敏的確に行動することを身に付ける。</li> <li>・体力を高め目的に適した運動能力を身に付ける。</li> <li>・現在の自分の体力を知り、今後の授業に活かす。</li> </ul>
	5	基礎運動能力育成、スポーツテスト 陸上（走・跳・投）	
	6		
前 期 期 末	7	陸上（走・跳・投）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々に応じた目標達成を目指す。</li> <li>・個人技能（パス・レシーブ・サーブ）の基本技能を習得すると共に、集団プレーの在り方を学び、ゲームに活かす工夫をさせる。</li> <li>・プレー中の安全に配慮しながら、状況に応じた技能を發揮できるようにさせる。</li> <li>・身体の柔軟性と調整能力を高め、様々な身体表現ができるようにさせる。</li> </ul>
	8	ソフトボール	
	9	バレーボール	
		ダンス（ラジオ体操）	
後 期 中 間	10	バレーボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人技能（パス・レシーブ・サーブ）の向上を図ると共に、集団プレーの在り方を学び、ゲームに活かす工夫をさせる。</li> <li>・プレー中の安全に配慮しながら、状況に応じた技能を發揮できるようにさせる。</li> <li>・身体表現力を高めることを通して、自己表現力を高め、個性の伸長を目指す。</li> </ul>
	11	ダンス	
学 年 末	12	バスケットボール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・接触プレーの多い球技種目を通して、チームの協調性とルールの順守の大切さを学ばせ、協力し合いながら、パスやドリブル・ボールコントロールの基本技術を身に付ける。</li> <li>・自己表現力を高め個性の伸長を目指しながら、仲間と心をついに身体表現することで、共生する大切さを実感させる。</li> </ul>
	1	ダンス	
	2 3		

評価の割合	授業内でのテスト 70% 平常点 30%				
考査の実施	実施せず全て実技試験による				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
留意事項	<p>運動の必要性を自覚させ、運動習慣の定着と体力向上に努力する姿勢を身に付けさせる。常に集団の一員としての在り方を考えさせ、進んで取り組む資質や改善する能力を養う。また、周囲の安全に気配りできる視野を育成し、互いを労われるようにする。健康と安全、周りとの協調性を認識しながら、生涯を通してスポーツに取り組む習慣を育成する。</p>				

# 【保健体育科】

## 保 健

履修学科	普通科、商業科、美術・デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	1単位
教科書	最新高等保健体育

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	第1单元 現代社会と健康 15 交通事故の現状と要因	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事故の特徴や発生に関する要因を学び、安全な交通社会づくりのための対策を考える。</li> <li>健康の考え方が変化していることを認識する。わが国の健康水準の変化と、現在の健康問題を考える。</li> </ul>
	5	16 交通事故を防ぐために 1 健康の考え方と成り立ち	
	6	2 私たちの健康のすがた 3 健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり	
前期 期末	7	4 生活習慣病とその予防	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病を知り、予防を学ぶ。健康にとっての食事や運動・休養の関わりと重要性を学ぶ。</li> <li>喫煙者やその周囲の人に起こる害を学ぶ。</li> </ul>
	8	5 食事と健康 6 運動・休養と健康	
	9	7 喫煙と健康	
後期 中間	10	8 飲酒と健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>飲酒による健康への影響を学ぶ。</li> <li>薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響を学ぶ。新たな感染症(性感染症・エイズ)の問題と予防対策について学ぶ。</li> </ul>
	11	9 薬物乱用と健康	
	12	10 感染症とその予防 11 性感染症・エイズとその予防	
学年 末	1	12 欲求と適応機制	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の欲求の種類、適応機制を学ぶ。</li> <li>心身相関と心身症・ストレスへの対処法を学ぶ。</li> </ul>
	2	13 心身の相関とストレス	
	3	14 心の健康のために	

評価の割合	考查点 80%      平常点 20%				
考查の実施	前期期末・学年末考查				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評 価 の 観 点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技 能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○	○		○
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○		○	
留意事項	健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれぞれを支える社会環境づくりが重要留意事項であるということから、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。				

# 【芸術科】

## 音楽Ⅰ

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修形態	選択必修
履修単位	2単位
教科書	教育芸術社 MOUSA1

学期・月	項目	ねらい・教材など	
前期中間	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>「音楽Ⅰ」学習のためのガイダンス、アンケート</li> <li>校歌を中心とした「歌唱」の練習 (日本の歌・イタリアの歌)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの音楽学習歴や音楽に関する興味関心度の調査など</li> <li>発声法を学び伸びやかに歌う 外国語の歌(イタリア語)に触れる 「教科書、CD」</li> <li>鍵盤に慣れる。「バイエルピアノ教則本」他</li> <li>リズムを理解し、コミュニケーションと表現力を学ぶ。</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアノ(鍵盤楽器)の基礎学習(練習)</li> <li>「歌」実技テスト</li> </ul>	
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボディーパーカッション(リズムアンサンブル)練習及び発表</li> </ul>	
前期期末	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアノ練習および実技テスト</li> <li>楽典の学習①</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鍵盤に慣れるとともに音階や曲の形式について考える。「バイエルピアノ教則本」他</li> <li>読譜の基本を確認する。</li> <li>日本の伝統音楽について学ぶ。</li> <li>CD鑑賞 「ワークブック、教科書、CD」</li> </ul>
	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽史(バロック・古典派)について</li> </ul>	
	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統音楽①</li> <li>CD鑑賞等</li> </ul>	
後期中間	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>DVD(ミュージカル映画)鑑賞 (感想文の提出)</li> <li>ドイツリートに触れる 「歌」実技テスト</li> <li>音楽史(ロマン派)の学習および鑑賞</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DVD「ハイスクール ミュージカル」</li> <li>表現力や制作の舞台裏を理解する。</li> <li>外国語の歌(ドイツ語)に触れる。 「教科書、CD」</li> <li>CD鑑賞等</li> <li>ミュージックベル「クリスマスソング」など発表を経験し、マナー等を学ぶ。</li> </ul>
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミュージックベルアンサンブル 練習</li> </ul>	
後期期末	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミュージックベルアンサンブル練習及び発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアノ課題「バイエルピアノ教則本」</li> <li>ワークブック(記号、拍子、演奏形態など)</li> <li>日本音楽の伝統音楽について学ぶ。</li> </ul>
	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピアノ練習および実技テスト</li> <li>楽典の学習②</li> </ul>	
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の伝統音楽について②</li> </ul>	
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>CD, DVD鑑賞</li> </ul>	

評価の割合	考查点/実技テスト点 80% 平常点20%				
考查の実施	年2回実施。前・後期末				
平常点の評価 (20点)	おもな評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○			
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 実技テスト	○	○	○	○	
留意事項	音楽経験(ピアノを習っている、習ったことがある)などで評価が大きく左右されないように形成的評価での評価とします。(今の自分のレベルから上達した部分を評価します)実技の取り組み具合が評価に大きくかかわります。				

# 【芸術科】

## 美術 I

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修形態	選択
履修単位	2単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材等
前期 中間	4	美術の学習のガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>色鉛筆、アクリルガッシュ絵の具などの画材に触れ、絵画、デザインにおいて美術の大切な要素となる色の特徴や色の選択、混色、重色を学習する。</li> <li>複数の図法を用い、スケッチを通して描くことに慣れながら、形や質感をとらえる力を身につける。</li> </ul>
	5	<色彩と形> 色の特徴	
	6	形の特徴	
前期 期末	7	<絵画制作>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な風景をスケッチし、構図、線遠近法を学習する。</li> <li>絵の具の表現法方を学び、風景画や自画像を制作する。</li> </ul>
	8	風景画を描く	
	9		
後期 中間	10	<彫刻制作>	<ul style="list-style-type: none"> <li>彫刻作品に込められた作者の想について考えながら、彫塑作品に対する鑑賞の能力を養う。</li> <li>作品のテーマやモチーフを考えながら、自然素材の塊からかたちを掘り出し、彫刻作品を制作する。</li> </ul>
	11	塊から掘り出す彫刻	
	12		
後期 期末	1	<デザイン> 日本美術	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本美術の歴史や伝統工芸を学習し、美術文化への鑑賞する力を養う。</li> <li>造形的なよさや美しさ、目的や条件などを基に美的感覚をはたらかせながら、生活と密着する現代のデザイン事情について学習する。</li> </ul>
	2		
	3	暮らしの中のデザイン	

評価の割合	考查点/課題評価点 80%      平常点 20%				
考查の実施	年2回実施します。前・後期末。				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評 価 の 観 点			
		関心・意欲・ 態度	表現・発想力	創造的技能	知識・理解・ 鑑賞の能力
	1 授業態度	○		○	
	2 出欠状況	○			
3 課題提出	○	○	○	○	
留意事項	期末考查の点数以外に、授業で制作する課題の作品やプリント類も評価に反映されます。必ず提出して下さい。				

# 【外国語科】

## コミュニケーション

### 英語 I

履修学科	普通科（特進）
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	5単位
教科書	WORLD TREK English Communication I (桐原書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	中学既習事項の確認・復習、高校英語への導入 Warm-up	教材：「WORLD TREK English Communication I Workbook」 「WORLD TREK English Communication I 学習ノート」 ①人とコミュニケーションをするうえでの重要性について読み取る。動詞の時制、比較級の用法を理解する。②ケニアの兄妹やインドの三兄弟が通学する様子を読み取る。to不定詞、動名詞の用法を理解する。
	5	Lesson 1 A Smile Is the Best Greeting!	
	6	Lesson 2 What Is School to You? 発展問題	
前期期末	7	Lesson 3 Soccer Uniforms Say a lot about Countries	①サッカー代表チームのユニフォームのデザインに反映された各国の歴史や文化について読み取る。助動詞の意味と用法を理解する。②フラミンゴ、アリ、ゾウそれぞれの特殊な生態について文を読み取る。S+V(be 動詞以外)+C、S+V+O(=to 不定詞, =that 節) の意味と用法を理解する。③身体に抱えた障害を乗り越えて、目標を達成してきた佐藤真海さんの体験談を読み取る。S+V(+O)+O(=how など+to~)、過去分詞、現在分詞)の意味と用法を理解する。
	8	Lesson4 Q & A about Nature	
	9	Lesson5 Challenge Your Limits! 発展問題	
後期中間	10	Lesson 6 The Wonderful World of Colors	①色を通して見えてくる時代・地域の文化的な違いや、色が心理に与える効果について読み取る。関係代名詞(主格, 目的格, what) の意味と用法を理解する。②ハワイ先住民の祖先はどのようにしてこの島へやってきたのかについて読み取る。現在完了進行形, 形式主語, 過去完了の意味と用法を理解する。
	11	Lesson 7 Hokulea's Adventure	
	12	発展問題	
後期期末	1	Lesson 8 The Secrets of Cup Ramen	①日本で誕生したカップラーメンについて読み取る。関係副詞の意味と用法を理解する。②Rose O'Neill の生涯を読み取る。分詞構文(現在分詞), 仮定法過去の意味と用法を理解する。③ジャガイモが世界中で愛される食べ物になった歴史を読み取る。S+V+O+C(=動詞の原形)の意味と用法を理解する。
	2	Lesson 9 Rose O'Neill	
	3	Lesson 10 Potato Stories 発展問題	

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT とのコミュニカティブなものから受験を意識したものまで幅広い内容を扱う。</li> <li>・生徒が英語を発する活動をできるだけ増やし、英語使用への動機づけを行う。</li> <li>・パターンプラクティスの形式で、文法の理解度を向上させる。</li> </ul>				



# 【外国語科】

## コミュニケーション

### 英語 I

履修学科	普通科（進学）
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	WORLD TREK English Communication I (桐原書店)

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間 4 5 6	中学既習事項の確認・復習、高校英語への導入 ①Lesson 1 A Smile Is the Best Greeting! ②Lesson 2 What Is School to You? ③単語テスト 第1章(1~300) ④【T.T】Listening Test	教材：「WORLD TREK English Communication I Workbook」 「WORLD TREK English Communication I 学習ノート」 「システム英単語 Basic」 ①人とコミュニケーションをとる上での重要性について読み取る。②ケニアの兄妹やインドの三兄弟が通学する様子を読み取る。③基礎単語の練習④小テストを行う。
前期期末 7 8 9	①Lesson3 Soccer Uniforms Say a lot about Countries ②Lesson4 Q & A about Nature ③Lesson5 Challenge Your Limits! ④単語テスト 第2章(301~500) ⑤【T.T】speaking Test	①サッカー代表チームのユニフォームのデザインに反映された各国の歴史や文化について読み取る。②フラミンゴ、アリ、ゾウそれぞれの特殊な生態について文を読み取る。S+V(be動詞以外)+C、S+V+0(=to不定詞, =that節)の意味と用法を理解する。③身体に抱えた障害を乗り越えて、目標を達成してきた佐藤真海さんの体験談を読み取る。S+V(+0)+0(=howなど+to~)、過去分詞、現在分詞の意味と用法を理解する。⑤小テストを行う。
後期中間 10 11 12	①Lesson 6 The Wonderful World of Colors ②Lesson 7 Hokulea's Adventure ③単語テスト 第2章(501~700) ④【T.T】speaking Test	①色を通して見えてくる時代・地域の文化的な違いや、色が心理に与える効果について読み取る。関係代名詞(主格、目的格, what)の意味と用法を理解する。②ハワイ先住民の祖先はどのようにしてこの島へやってきたのかについて読み取る。現在完了進行形、形式主語、過去完了の意味と用法を理解する。④小テストを行う。
後期期末 1 2 3	①Lesson 8 The Secrets of Cup Ramen ②Lesson 9 Rose O'Neill ③Lesson 10 Potato Stories ④単語テスト 第2章(701~900) ⑤【T.T】writing Test	①日本で誕生したカップラーメンについて読み取る。関係副詞の意味と用法を理解する。②Rose O'Neillの生涯を読み取る。分詞構文(現在分詞), 仮定法過去の意味と用法を理解する。③ジャガイモが世界中で愛される食べ物になった歴史を読み取る。S+V+O+C(=動詞の原形)の意味と用法を理解する。⑤小テストを行う。

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALT とのコミュニカティブなものから受験を意識したものまで幅広い内容を扱う。</li> <li>生徒が英語を発する活動をできるだけ増やし、英語使用への動機づけを行う。</li> <li>平常点は単語テストを中心に評価し、各小テストは定期考查の点数に組み込む。</li> </ul>				

# 【外国語科】

## コミュニケーション

### 英語 I

履修学科	普通科(未来創造・保育)、商業科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	All aboard! English Communication I (東京書籍)

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 5 6 中学既習事項の確認・復習、高校英語への導入 Warm-up Pre-Lesson1 My Name Is Kimura Yui. Pre-Lesson2 I Like Japanese Comic Books. Lesson 1 This Is My House Lesson 2 My Favorite Hero	教材:「英単語ターゲット 1200」(旺文社) 「書き込み式ノート英単語ターゲット 1200 Workbook 1」 ①簡単な英語で自分自身のことを表現できるようにする。②身のまわりのことや好きな人物について英語で述べるができる。③be 動詞と一般動詞、否定と疑問文、過去形、進行形を理解し、文を作ることができる。
前期期末	7 8 9 Lesson 3 Cool Culture from Japan Lesson 4 A Miracle Mirror Lesson 5 Finding My Future	①日本の文化や海外での体験について説明したり、将来の夢を述べたりすることができる。②単語のワークブックを活用して語彙数を増やす。③助動詞、to 不定詞、動名詞、接続詞を理解し文を作ることができる。
後期中間	10 11 Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period Lesson 7 Living on Ice Lesson 8 Building Trust in Space	①好きな絵や写真について述べるができる。②本文に関する英問に英語で答えられるようにする。③受け身、現在完了形、it の用法、文構造を理解し、文を作ることができる。
学年末	12 1 2 3 Lesson 9 Pigs from across the Sea Lesson 10 I Am Malala	①世界のことに目を向け、内容に関する感想や自分にできることを述べるができる。②内容を聞き手に伝わるように音読できる。③関係詞、分詞構文、比較表現、仮定法過去を理解し文を作ることができる。

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・学年末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒への指示等はできるだけ英語で行い、コミュニケーション的な発話を促す。</li> <li>生徒が英語を発する活動をできるだけ増やし、英語使用への動機づけを行う。</li> <li>英単語帳を使用し、語彙数を増やす。</li> </ul>				

# 【外国語科】

## コミュニケーション

### 英語 I

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	WORLD TREK English Communication I (桐原書店)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	中学既習事項の確認・復習、高校英語への導入 Warm-up	教材：「英単語ターゲット 1200」(旺文社) 「書き込み式ノート英単語ターゲット 1200 workbook1」 ①人とコミュニケーションをするうえでの重要性について読み取る。動詞の時制、比較級の用法を理解する。②ケニアの兄妹やインドの三兄弟が通学する様子を読み取る。to不定詞、動名詞の用法を理解する。
	5	Lesson 1 A Smile Is the Best Greeting!	
	6	Lesson 2 What Is School to You?	
前期 期末	7	Lesson 3 Soccer Uniforms Say a lot about Countries	①サッカー代表チームのユニフォームのデザインに反映された各国の歴史や文化について読み取る。助動詞の意味と用法を理解する。②フラミンゴ、アリ、ゾウそれぞれの特殊な生態について文を読み取る。S+V(be動詞以外)+C、S+V+O(=to不定詞, =that節)の意味と用法を理解する。③S+V(+O)+O(=howなど+to~)、過去分詞、現在分詞の意味と用法を理解する。
	8	Lesson 4 Q & A about Nature	
	9	Lesson 5 Challenge Your Limits!	
後期 中間	10	Lesson 6 The Wonderful World of Colors	①色を通して見えてくる時代・地域の文化的な違いや、色が心理に与える効果について読み取る。関係代名詞(主格、目的格, what)の意味と用法を理解する。②現在完了進行形、形式主語、過去完了の意味と用法を理解する。
	11 12	Lesson 7 Hokulea's Adventure	
後期 期末	1	Lesson 8 The Secrets of Cup Ramen	①日本で誕生したカップラーメンについて読み取る。関係副詞の意味と用法を理解する。②分詞構文(現在分詞), 仮定法過去の意味と用法を理解する。③S+V+O+C(=動詞の原形)の意味と用法を理解する。
	2	Lesson 9 Rose O'Neill	
	3	Lesson 10 Potato Stories	

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒への指示等はできるだけ英語で行い、コミュニケーション的な発話を促す。</li> <li>生徒が英語を発する活動をできるだけ増やし、英語使用への動機づけを行う。</li> <li>英単語帳を使用し、語彙数を増やす。</li> </ul>				

# 【外国語科】

## 英語探究A

履修学科	普通科（特進）
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	総合英語 Evergreen English Grammar in 25 Lessons

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	(1)中学英単語・英熟語・英文法の復習	(1)システム英単語 Basic（駿台文庫） (2)自主教材（プリント）、 総合英語 Evergreen（いいずな書店）、 Evergreen English Grammar in 25 Lessons（いいずな書店）、大岩のいちばんはじめの英文法（東進ブックス）、英文法レベル別問題集（東進ブックス）
	5	(2)高校レベル英単語(1~150)	
	6	(3)高校基礎英文法・構文 文の種類、動詞と文型、時制、完了形、助動詞	
前期 期末	7	(1)高校レベル英単語(151~300)	(1)システム英単語 Basic（駿台文庫） (2)自主教材（プリント）、 Evergreen English Grammar 25 Lessons（いいずな書店）、 ・『予習→授業→復習（宿題）』の学習パターンを確立する。 ・高校基礎レベルの語彙を習得することによって、読解問題に対応する基礎力を固める。単語テストは定期的に行う。
	8	(2)高校基礎英文法・構文 受動態、不定詞、動名詞	
	9		
後期 中間	10	(1)高校レベル英単語(301~450)	(1)システム英単語 Basic（駿台文庫） (2)自主教材（プリント） Evergreen English Grammar 25 Lessons（いいずな書店） ・英語を理解し、表現するための文法力や運用能力の育成を図る。 ・頻出構文の理解と定着を図る。
	11	(2)高校基礎英文法・構文 分詞、分詞構文、比較	
後期 期末	12 1 2 3	(1)高校レベル英単語(451~600) (2)高校レベル英熟語 (3)高校基礎英文法・構文 関係詞、仮定法、その他	(1)システム英単語 Basic（駿台文庫） (2)自主教材（プリント） (3) Evergreen English Grammar 25 Lessons（いいずな書店） ・共通テスト、中堅私大レベルの内容に対応できる基礎力を固めることを目標とする。

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間考查・前期期末考查・後期中間考查・後期期末考查				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日講習でも同じ教材を使用する。また英語アプリも使用する。</li> <li>・模擬試験の対策と解説を適宜行い、実力アップを図る。</li> </ul>				

# 【家庭科】

## 家庭基礎

履修学科	普通科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活をつくる 食生活の現状と課題 栄養素と食品 食品の保存 調理実習</li> <li>・住生活をつくる 住まいの計画 安全で衛生的な住まい</li> </ul>
	5	
	6	
前期 期末	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと共に育つ 親の役割 子どもの成長のようすと生活</li> <li>・高齢社会を生きる 共に生き共に支える</li> </ul>
	8	
	9	
後期 中間	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣生活をつくる 衣服の機能を考える (衣服材料を知る)</li> <li>・衣服計画を立てる (衣生活と環境)</li> <li>・縫製の基礎</li> </ul>
	11	
後期 期末	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分らしい人生をつくる 家族・家庭と法律 青年期の課題とは</li> <li>・経済生活を営む 消費生活</li> <li>・生活を設計する</li> </ul>
	12	
	1	
	2	
3		

評価の割合	考查点 70% 実技点・平常点 30%				
考查の実施	前期期末・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト		○		○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の一生と家族、家庭及び衣食住などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。</li> <li>・基礎縫製や調理実習などの作業では、集団での自己を理解し、互いに協力して仕事を進め、真剣な態度で実習に取り組むようにする。</li> </ul>				

# 【教科情報】

## 社会と情報

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 1章 情報社会と私たち 1. 情報社会 2. 情報とメディア 3. 情報モラルと社会のルール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報や社会の意味、特徴について学ぶ</li> <li>・情報の残存性、複製性、伝播性など情報社会における情報の特徴について学ぶ</li> <li>・社会の情報化に伴い生じる問題について考え、理由と対処法について学ぶ</li> <li>・情報機器の仕組みについて学ぶ</li> </ul>
	5 2章 情報機器とデジタル表現 1. 情報機器とデジタル	
	6 3章 表現と伝達 1. 表現の工夫	
前期期末	7 2章 情報機器とデジタル表現 2. デジタル表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アナログとデジタルの意味、情報量の単位について学ぶ</li> <li>・ネットワークを活用したコミュニケーションの特徴と性質を学ぶ</li> <li>・表計算ソフトウェアを利用し、関数の利用等を実習で学ぶ</li> </ul>
	8 4章 コミュニケーションとネットワーク 1. コミュニケーション	
	9 3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用	
後期中間	10 4章 コミュニケーションとネットワーク 2. ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークおよびインターネットの仕組み等について学ぶ</li> <li>・情報セキュリティについて学び、コンピュータウイルスに対する知識を身につける</li> <li>・身近な情報システムの仕組みと働きについて学ぶ</li> </ul>
	11 3章 情報セキュリティ 5章 情報社会と問題解決 1. 情報システムと人間	
	12 3章 表現と伝達 2. 表計算ソフトの利用	
後期期末	1 5章 情報社会と問題解決 2. 問題解決	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の過程を理解・学習する</li> <li>・プレゼンテーション実施について学ぶ</li> <li>・Webページについて学ぶ</li> </ul>
	2 3章 表現と伝達 3. プレゼンテーション	
	3 5章 情報社会と問題解決 3. 情報発信	

評価の割合	考查 60% 実技および平常点 40%				
考查の実施	前期期末考查、学年末考查				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○	○		
	3 課題提出		○	○	○
4 小テスト		○	○	○	
留意事項					

# 【商業科】

## ビジネス基礎

履修学科	商業科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	ビジネス基礎（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1章 商業の学習ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商業を学ぶ目的やどのような科目があるかを知り、専門的能力を身につけることの重要性を理解する。</li> <li>・経済の基本的なしくみや考え方を学ぶ。</li> <li>・経済活動のなかでのビジネスの意義。生産から消費にいたる「流通」の意義について学ぶ。</li> </ul>
	5	第2章 流通経済の基礎	
	6		
前期期末	7	第3章 ビジネスの担い手	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスの種類を学びその仕事内容について理解する。</li> <li>・企業の役割や種類などについて理解する。また、企業組織・経営戦略・雇用・企業倫理と企業活動を行うために必要な知識や考え方を学ぶ。</li> <li>・企業に関わる税の種類や雇用の形態について学ぶとともに、企業が負う責任について考える</li> </ul>
	8	第4章 企業活動の基礎	
	9		
後期中間	10	第5章 ビジネスと売買取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売買取引をおこなうために必要な知識を学び代金決済がどのようになされるのかを理解する。</li> <li>・ビジネス計算に関する基本的な知識を学ぶ。</li> </ul>
	11	第6章 売買に関する計算	
学年末	12	第7章 ビジネスとコミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスに対する望ましい心構えや基本的なマナーを身につける。</li> <li>・ビジネスの場面に応じたコミュニケーションのとり方や、情報の活用について学ぶ。</li> </ul>
	1		
	2		
	3		

評価の割合	考查点 70%      平常点 30%				
考查の実施	前期中間 ・ 前期期末 ・ 後期中間 ・ 学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	この「ビジネス基礎」は商業科目全体の土台となります。土台を固めて他の商業科目の学習への興味・関心を深めていきます。学習到達度測定の一環として、2月に全商商業経済検定（ビジネス基礎）を受験します。				

# 【商業科】

## 簿記

履修学科	商業科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	「新簿記」(実教出版)

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	第1編 簿記の基礎 第1章 簿記の基礎 ～ 第9章 決算	○ 簿記の意味・目的・役割などを理解すると共に、簿記の基本的な流れについて学習する。 ○ 資産・負債・純資産・収益・費用の意味を明らかにし、それぞれの関係性を理解する。 ○ 純損益の計算の方法(財産法・損益法)を理解する。
	5		
	6		
前期期末	7	第2編 取引の記帳(その1) 第10章 現金・預金などの取引 ～ 第18章 販売費及び一般管理費と税金の取引	○ 企業における基本となる取引の記帳方法について学習する。 ○ 現金預金取引・掛け取引・手形取引などの基本的な記帳方法を理解する。 ○ 各補助簿の役割を理解し、作成できるようにする。
	8		
	9		
後期中間	10	第3編 決算(その1) 第19章 決算整理(その1) ～ 第21章 帳簿決算と財務諸表の作成(その1)	○ 個人企業における決算のしくみと手続きを学習する。 ○ 決算整理について理解し、貸借対照表・損益計算書を作成できるようにする。
	11		
学年末	11	第4編 会計帳簿と帳簿組織 第22章 会計帳簿 ～ 第23章 伝票	○ 帳簿の分類について理解すると共に、伝票(3伝票)を用いて記帳する方法を学習する。
	12		
	1		
	2		
	3		
		総合学習	○ 3級の内容を振り返り、仕訳の確認など、知識の定着を図る。

評価の割合	考查点 70% ・ 平常点 30%				
考查の実施	前期中間・前期期末・後期中間・学年末				
平常点の評価 (30点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○		○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<p>個々の能力・適性に応じた進度により、習熟度別に授業を展開していきます。ただし、考查においては、共通問題とし、公平な評価を行います。</p> <p>○学習到達度を図るため以下の検定試験を受験します。</p> <p>1月 全国商業高等学校協会 簿記実務検定試験 3級</p>				



# 【商業科】

## 情報処理

履修学科	商業科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	3単位
教科書	情報処理（実教出版）

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期中間	4	1 情報の活用と情報モラル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジネスにおける情報の意義や役割、ハードウェア</li> <li>・ソフトウェアの概要及び情報モラルについて学習します。</li> </ul>
	5		
	6		
前期期末	7	2 情報通信ネットワークとセキュリティ管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットやLANの概要、ビジネスに関する情報の収集</li> <li>・発信および適切なセキュリティ管理について学習します。</li> </ul>
	8		
	9		
後期中間	10	3 ビジネス情報の処理と分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトウェアを活用し、ビジネスに関する情報の処理と分析を行うための基礎的な知識と技術について学習します。</li> </ul>
	11		
学年末	12	4 ビジネス文書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の表現及び文書作成ソフトウェアの活用について学習します。</li> </ul>
	1	5 プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションにおける話し方や話の構成及びプレゼンテーションソフトウェアの活用について学習します。</li> </ul>
	2		
	3		

評価の割合	考查点 60% 平常点 40%				
考查の実施	・前期中間 ・前期期末 ・後期中間 ・学年末				
平常点の評価 (40点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○	○	○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
4 小テスト	○	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習到達度測定の一環として、以下の検定試験を1つの目標に学習します。</li> </ul> 9月、1月 全国商業高等学校協会主催情報処理検定				

# 【美術科】

## 素描

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	2単位
教科書	なし

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	〈デッサンの基礎〉 卓上静物デッサン 球・立方体・円柱 基本形態の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>デッサンに使用する道具（鉛筆、練り消しゴム、スケールなど）の使い方を学ぶ。</li> <li>鉛筆を使用した明暗の調子の練習を行う。</li> <li>球、立方体、円柱のデッサンを通し、基本形態の理解を深める。</li> </ul>
	5		
	6		
前期 期末	7	〈石膏デッサン〉 石膏像（頭像） 形・明暗・空間の理解 〈構成デッサン〉 自画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>石膏像を注意深く観察し、構図や形、明暗、材質といった要素を総合的に学ぶ。</li> <li>自分の顔をよく観察し、プロポーションや構図を工夫する。</li> </ul>
	8		
	9		
後期 中間	10	〈デッサン応用〉 静物デッサン 形・明暗・材質・空間の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期の学習を踏まえ、応用として静物をデッサンする。様々なモチーフの形体や材質や関係性、空間などを意識しながら描く。</li> </ul>
	11		
	12		
後期 期末	1	〈人物デッサン〉 人体の理解 構図・プロポーションの理解 〈構成デッサン〉 手	<ul style="list-style-type: none"> <li>人物モデルをスケッチすることで人体の構造の理解を深める。構図やプロポーション、動きなどを意識しながら描く。</li> <li>自分の手をよく観察し、様々なポーズでデッサンする。細部の観察や質感の描き分けなどを学ぶ。</li> </ul>
	2		
	3		

評価の割合	課題評価（考査含む）80% 平常点20%				
考査の実施	年2回実施 前期期末・後期期末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

# 【美術科】

## 構成

履修学科	美術・デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	4単位
教科書	

学期・月		項目	ねらい・教材など
前期 中間	4	〈色彩学〉 色の性質・平面構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>色彩感覚や構成力を学び、基礎的な造形力を身につける。</li> <li>紙を使用した演習を通し、切る、折る、破るなどの行為を通し、表出した形からデザインする。</li> <li>油絵の具の特性を理解し、基本的な技法を体験する。モチーフをよく観察し、油彩で描く。</li> </ul>
	5	〈立体感覚演習Ⅰ〉 板材による構成(1)	
	6	〈油彩〉 油彩の技法・作品制作	
前期 期末	7	〈パッケージデザイン〉 パッケージデザイン分析・制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品パッケージをよく観察し、自分なりにデザインを考える。</li> <li>フレーム、細木、糸などを使用し、間合いを考え簡素な処理で空間を構成する。</li> <li>顔料を膠で溶いて絵の具を作るなどの日本画特有の技法を学ぶ。モチーフをよく観察し、日本画を描く。</li> </ul>
	8	〈立体感覚演習Ⅱ〉 線材による構成	
	9	〈日本画〉 日本画の技法・作品制作	
後期 中間	10	〈色彩学〉 色の性質・平面構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>色彩感覚や構成力を学び、基礎的な造形力を身につける。</li> <li>紙を使用した演習を通し、切る、折る、破るなどの行為を通し、表出した形からデザインする。</li> <li>油絵の具の特性を理解し、基本的な技法を体験する。モチーフをよく観察し、油彩で描く。</li> </ul>
	11	〈立体感覚演習Ⅰ〉 板材による構成(1)	
	12	〈油彩〉 油彩の技法・作品制作	
後期 期末	1	〈パッケージデザイン〉 パッケージデザイン分析・制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>商品パッケージをよく観察し、自分なりにデザインを考える。</li> <li>フレーム、細木、糸などを使用し、間合いを考え簡素な処理で空間を構成する。</li> <li>顔料を膠で溶いて絵の具を作るなどの日本画特有の技法を学ぶ。モチーフをよく観察し、日本画を描く。</li> </ul>
	2	〈立体感覚演習Ⅱ〉 線材による構成	
	3	〈日本画〉 日本画の技法・作品制作	

評価の割合	課題評価（考査含む）80% 平常点20%				
考査の実施	年2回実施 前期期末・後期末				
平常点の評価 (20点)	主な評価内容	評価の観点			
		関心・意欲 態度	思考・判断 表現	技能	知識・理解
	1 授業態度	○	○		○
	2 出席状況	○			
	3 課題提出	○	○	○	○
留意事項					

# 総合的な探究の時間

## テーマ「進路探究」

履修学科	普通科, 美術デザイン科
履修学年	第1学年
履修形態	必修
履修単位	1単位
テキスト	進路サポート タイプⅠ 普通科 特別進学 タイプⅡ 普通科 未来創造 保育 進学 美術・デザイン科

学期・月	項目	ねらい・教材など
前期中間	4 ○進路サポート演習	1年生のねらい 自分を知り, 将来の職業や学びについて考える。 ・進路について深く考える。 ・自分のこと(長所・短所)を知る。 ・身の回りのことから進路を考える。 ・社会のテーマから進路を考える。 ・文系・理系の進路を考える。 職業の特徴を理解し, 自分に適した職業を考える。
	5	
	6 ○職業理解ガイダンス1	
前期期末	7 ○進路サポート演習	・社会と仕事の関わりについて考える。 職業の特徴を理解し, 自分に適した職業を考える。
	8	
	9 ○職業理解ガイダンス2	
後期中間	10 ○進路サポート演習	・変わりゆく社会のテーマについて考察する。 ・働く意味について考える。 自分の将来の目標とそれに向けてしなければならないことについて具体的に書く。 ①書く条件の把握 ②社会への意識の高さ ③進路探究の深まり ④論理性 ⑤構成・表記
	11 ○小論文演習 「自己PR・志望理由」	
	12 ○進路探究レポート提出 「社会とどうかかわりたいか」	
学年末	1 ○進路探究レポート振り返り	・探究してきた進路について整理する。
	2 ○ポートフォリオまとめ	
	3 ○1年間のまとめ	

評価の割合	所見による評価			
考查の実施	なし			
評価	主な評価内容	評価の観点		
		知識及び理解	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
	1 授業態度	○	○	○
	2 出席状況			○
	3 ワーク・テスト・レポート	○	○	○
4 ポートフォリオ	○	○	○	
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「継続は力なり」です。授業を休まないように心掛けてください。</li> <li>・学習計画は, 進路状況によって実施時期や内容を変更する場合があります。</li> </ul>			